



金融商品ガイド

投信はコスト高？ データから検証

10 月時点で国内の公募契
約型投資信託の残高は

64兆円以上に達し、8月以来
3カ月連続で過去最高を更新
中。投資信託の規模拡大に伴
い昨今目立つのが「投信業界
は儲けすぎ」「信託報酬等が
高すぎ」なる論調だ。

この問題を実感するために
は、マイクロベースでのデー
タを用いるのが近道。10月末時
点を基準に、最もベンチマー
クが取りやすいファンドのひ
とつである国内株式一般型を
対象に、過去の運用成績（騰
落率）から推計されるコスト
控除前の運用成績とコスト控
除後の受益者にとっての正味
の収益率を算出してみた。

全ファンドがベンチマー
クにTOPIXを採用している
わけではないが、とりあえず
個別ファンドごとに「推定運
用収益率」と「信託報酬控
除後の（期間別騰落率）」そし
て、「募集（販売）手数料控
除後の受益者が受け入れる正
味の収益率」を示した。
残高トップの「フィデリティ

イ・日本成長株・ファンド」

の5年騰落率（信託報酬控除
後）は69・1%。つまり過去
5年間に、収益分配金を加味
した基準価額は同%上昇した
ことを示す。このファンドの
年当たりの信託報酬率は1・
53%。概算で5年間7・65%
程度のコストを控除する前の
段階で、このファンドは76・
8%の収益を稼いだと推定さ
れるのだ。ところが、実際に
受益者の手に入る収益は69・
1%から販売手数料の3%分
を控除した後の66・1%とい
うことになる。

すなわち、ファンドマネジ
ャーの段階では76・8%稼い
だが10・7%相当のコストが
控除された結果、66・1%相
当の収益を手にするにとどま
るといふわけだ。これを「か
なりコスト高」とみるか「こ
の程度の手数料はしょうがな
い」と見るかは自由。しかし、
とりあえず「5年持てば10%
内外のコストがかかる商品」
という程度の認識は持つてい
ていいと思う。

日本株ファンドの受益者コスト控除後のパフォーマンスをチェック

ファンド名	会社名	当初 設定日	基準 価格 (円)	純資産 (億円)	騰落率 (%)				受益者コスト (%)		コスト控除前 の運用収益 (騰落率へ ス%)	受益者の 収益 (%) (a)-(b)
					6カ月	1年	3年	5年(a)	募集手数料 (b)	信託報酬		
フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1998. 4. 1	17,142	5,093	▲5.5	11.3	41.4	69.1	3	1.53	76.8	66.1
ノムラ日本株戦略ファンド	野村アセットマネジメント	2000. 2. 2	8,451	3,784	▲7.1	14.6	62.6	61.7	3	1.90	71.2	58.7
フィデリティ・ジャパン・オープン	フィデリティ投信	1995.12.22	12,870	2,708	▲5.5	11.5	39.9	68.7	3	1.53	76.3	65.7
ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント	1996. 2.28	8,603	2,300	▲6.0	16.0	61.8	60.0	3	1.52	67.6	57.0
日興ジャパンオープン	日興アセットマネジメント	1998. 8.28	9,673	1,541	▲7.4	14.9	66.5	46.0	3	1.72	54.6	43.0
三菱UFJ日本株アクティブ・ファンド	三菱UFJ投信	2000.10.31	10,091	1,284	▲7.9	7.1	49.9	79.1	3	1.50	86.6	76.1
利益還元成長株オープン	日興アセットマネジメント	1991. 6.26	12,202	1,269	▲6.9	15.2	68.7	65.2	2	0.82	69.3	63.2
アクティブ・ニッポン	大和証券投資信託委託	1998.11.20	8,262	1,198	▲6.3	15.1	64.4	60.1	3	1.52	67.7	57.1
ダイワ・バリュー株・オープン	大和証券投資信託委託	2000. 2.10	12,842	817	▲8.0	11.4	67.4	80.4	3	1.52	88.0	77.4
デジタル情報通信革命	大和証券投資信託委託	1999. 9. 1	6,444	732	▲8.4	16.7	18.1	32.4	3	1.52	40.0	29.4
三井住友・日本株オープン	三井住友アセットマネジメント	1994. 9.28	10,105	550	▲8.4	6.2	42.8	46.3	2	0.80	50.3	44.3
アクティブバリューオープン	T&Dアセットマネジメント	1996. 2.29	18,853	543	▲3.3	19.7	84.7	140.3	2	1.03	145.5	138.3
DKA株式オープン	第一勧業アセットマネジメント	1976. 9.17	1,251	491	▲15.2	2.9	58.4	63.8	2	0.75	67.5	61.8
大和住銀日本バリュー株ファンド	大和住銀投信投資顧問	1999. 7.30	12,745	407	▲6.8	8.2	68.6	72.7	3	1.52	80.3	69.7
日興エコファンド	日興アセットマネジメント	1999. 8.20	10,293	406	▲5.7	15.0	62.9	52.9	2	1.52	60.5	50.9
ブランドエクイティ	新光投信	2000. 4.28	9,172	364	▲3.4	15.7	41.6	36.8	3	1.50	44.3	33.8
三菱UFJ日本株アクティブオープン	三菱UFJ投信	1998. 6.30	11,431	351	▲6.7	15.5	64.4	78.9	2.5	1.55	86.7	76.4
日本株インカム・ファンド	三菱UFJ投信	2000. 3.31	19,746	311	▲4.9	8.0	70.3	95.9	3	1.50	103.4	92.9
ミュータント	日興アセットマネジメント	2000. 9.28	19,414	306	▲9.6	8.6	140.3	197.3	3	1.90	206.8	194.3
日興アクティブ・ダイナミクス	日興アセットマネジメント	2000.12.15	11,199	270	▲5.9	13.9	49.8	39.5	3	2.00	49.5	36.5
フィデリティ・日本優良株・ファンド	フィデリティ投信	2000. 4.20	10,480	268	▲5.7	15.7	53.9	79.4	3	1.50	86.9	76.4
IBJ ITMジャパン・セレクション	興銀第一ライフ・アセットマネジメント	1998. 9.18	9,711	268	▲9.4	14.3	68.2	88.6	3	1.60	96.6	85.6
日本株オープン新潮流	新光投信	1999.12.24	8,118	258	▲12.3	4.6	41.1	60.4	3	1.70	68.9	57.4
GS・日本株ファンド（自動継続）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	1998.12.28	12,993	253	▲7.4	12.8	49.8	38.6	3	1.60	46.6	35.6
ファンド「メガ・テック」	新光投信	1999.12. 6	6,114	246	▲9.1	17.1	38.0	54.6	3	1.50	62.1	51.6
ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン	野村アセットマネジメント	1997.12.26	11,328	233	▲8.4	11.0	67.1	65.4	3	1.52	73.0	62.4
スーパートレンドオープン	野村アセットマネジメント	1990. 2.23	3,965	220	▲5.2	17.1	62.9	62.4	2	0.82	66.5	60.4
DKAキャピタル・グロース・オープン	第一勧業アセットマネジメント	1999.10.28	8,751	216	▲15.4	2.0	53.6	55.1	3	1.70	63.6	52.1
三菱UFJ日本株オープン [35]	三菱UFJ投信	1999. 3.24	12,517	213	▲6.0	21.0	56.5	67.0	3	1.50	74.5	64.0
参考1	単純平均				▲7.5	12.5	59.2	69.6	2.8	1.50		66.8
参考2	TOPIX				▲5.8	12.0	55.0	52.7				

注) 2006年10月末基準。ファンド名は一部略称。騰落率の計算では収益分配金の再投資は考慮せず。太字はいずれもTOPIXの5年間騰落率（52.7%）を上回っていることを示す